



がんばって咲き残っているパンジーに、ツマグロヒョウモン（タテハチョウのなかま）の幼虫がついていました。まもなく、さなぎになるくらいのおおきさです。毒のある毛虫のように見えるので、「要注意!!」と思われがちですが、毒はありません。とげのように見える部分もやわらかく、ゴム製のやわらかい歯間ブラシのようです。



6月24日に、前蛹（さなぎになる少し前の状態）になりました。このチョウは、逆さまになってさなぎになるのです。私たちがずっと逆さまになったら、それはもう大変なことになってしまいます。

いったい体の中はどんな仕組みになっているのでしょうかね。全容解明（すべて明らかになること、分かること）されているのか調べてみたいところです。



6月25日、さなぎになりました。背中にあるキラキラしたとげ(?)のようなものが特徴です。これが金色に輝いていると「メス」で、銀色だと「オス」だそうです。ということは、このさなぎからは、「メス」のツマグロヒョウモンが羽化(成虫となって出てくること)することになります。7月の初めには、チョウになります。うかうかしてられません。